

2024年度

決算の お知らせ

収入合計 43億6,100万円

支出合計 38億1,800万円

収入支出差引額 5億4,300万円

アボット健康保険組合の2024年度決算が、2025年8月6日に開催された第35回組合会において、可決、承認されましたのでご報告いたします。

一般勘定

概要

2024年度決算は、保険給付費の減少により当初の予算を下回る支出となり、5億4,300万円の黒字決算となりました。しかし、予算以内ではありましたが納付金は前年度より増加しており、経常収支は4億7,200万円の赤字となっています。

収入について

収入の大部分を占める「保険料収入」は、新規加入者の増加、及び平均標準報酬月額等の伸びもあり、当初予算額より9億9,500万円増の32億8,000万円となりました。

支出について

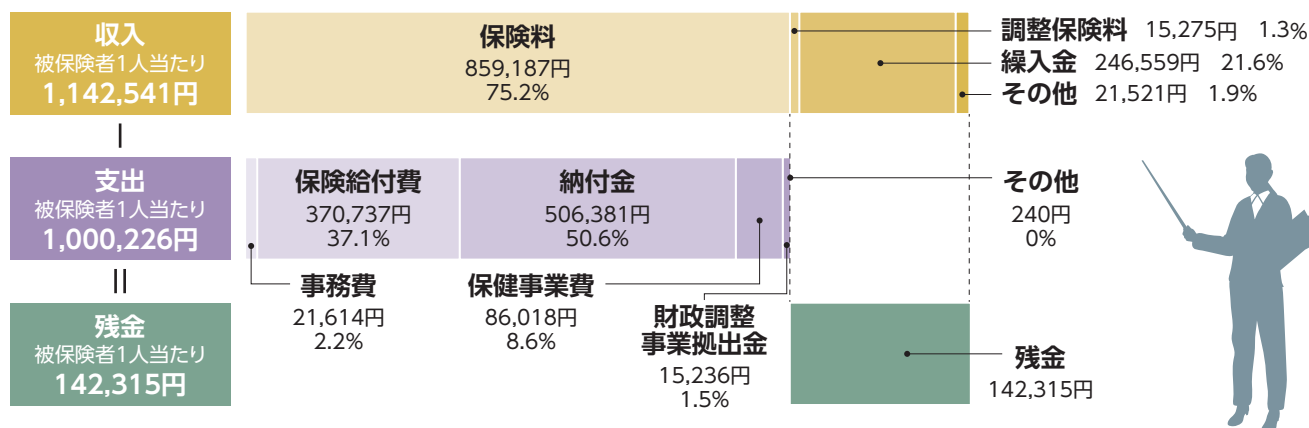
2024年度決算では、保険給付費(みなさんが病気やけがをしたときの医療費等)は、14億2,000万円となりました。予算では前年度の被扶養者の増加による医療費への影響を考慮し、対前年度比1億9,000万円増の16億6,100万円を見込んでいましたが、当初予算に対し保険給付費は85.2%となりました。1人当たりの額も435,202円から370,737円となり、みなさんが健康維持に努められた結果

であると推測されます。

また、アボット健保の大きな負担となっている納付金(健康保険組合が国に拠出している高齢者のための医療費)は、対前年度比4億7,100万円増の19億3,300万円となり、1人当たりの金額も380,375円から506,381円と大幅に増加しました。納付金は、今後ますます増加する見込みのため、アボット健保の負担はさらに重くなっていくものと予測されます。

保健事業費については、3億2,800万円支出しました。みなさんの健康づくりの支援として、健診費用補助(オプション検査、二次検査・再検査含む)では2022年度から始めた「被扶養者健診受診促進キャンペーン(被扶養者が基本健診を受けた場合、被保険者に3,000ポイントを付与)」を引き続き実施しました。健康診断では人間ドックを受ける人が増え、特に被扶養者の受診率が増加、また特定保健指導においても同様に増加しました。新規事業としては、PCやスマホを利用したオンライン禁煙プログラムである「禁煙サポートプラン」や巡回歯科検診を実施、健康イベントとして「ボウリング大会」を行いました。2024年度に実施した主な保健事業については4～5ページに掲載しています。

グラフで見る収支(一般勘定)と1人当たりの金額



2024年度収入支出決算(一般勘定)

	科目	決算額 (千円)	被保険者1人 あたり額(円)
収入	保険料収入	3,279,515	859,187
	調整保険料	58,306	15,275
	繰入金	941,115	246,559
	その他	82,144	21,520
	合 計	4,361,080	1,142,541



	科目	決算額 (千円)	被保険者1人 あたり額(円)
支出	事務費	82,502	21,614
	保険給付費	1,415,102	370,737
	納付金	1,932,857	506,381
	保健事業費	328,331	86,018
	財政調整事業拠出金	58,154	15,236
	その他	917	240
	合 計	3,817,863	1,000,226
収支差引額		543,217	142,315

介護勘定

2024年度収入支出決算(介護勘定)

	科目	決算額 (千円)	被保険者1人 あたり額(円)
収入	保険料収入	577,205	246,248
	その他	30,203	12,885
	合 計	607,408	259,133
支出	納付金	515,991	220,133
	その他	0	0
	合 計	515,991	220,133
収支差引額		91,417	39,000

健康保険組合では、40歳以上の方の介護保険料の徴収を国から代行し、介護納付金として国に納めています。アボット健保では国に納める介護納付金は年々増加していますが、介護保険料率を前年度と同じ20%で料率を維持しました。2024年度は、一般勘定同様、保険料収入が増加したため、9,100万円の黒字となり、決算残金9,100万円は介護準備金に積み増しました。

2024年度実施

アボット健保の 主な保健事業

健康診断の費用補助

一般健診、生活習慣病健診、人間ドック、巡回レディース健診及びオプション検査等の費用補助を行いました。

基本健診

被保険者・被扶養者とも人間ドックを受ける人が増えています。被扶養者の健診受診率は58.1%と前年度より増加しましたが、まだ少ない状況です。被保険者の受診率は93.6%でした。

	被保険者	被扶養者	合計	前年差
人間ドック	2,042名	384名	2,426名	249名
生活習慣病健診	745名	288名	1,033名	-359名
定期健康診断	681名	38名	719名	124名
合計	3,468名	710名	4,178名	14名
前年差	30名	47名	77名	

●2次検査(再検査)の費用申請について

やむを得ない事情がある場合を除き、基本健診(一般健診・生活習慣病健診・家族健診・特定健診・人間ドック) **受診後3カ月以内の検査(6カ月以内の申請)**が補助の対象です。期日を過ぎてからの受診は保険診療となります。

※経過観察や自己判断、自覚症状があつての受診もすべて保険診療となります。

オプション検査

オプション検査の多くは無料であり、自己負担のある検査はカフェテリアポイントを使って検査を受けることができます。被扶養者の受診者が増加したこともあり、婦人科検診を受ける人が増加しました。

●オプション検査の費用申請について

やむを得ない事情がある場合を除き、基本健診(一般健診・生活習慣病健診・家族健診・特定健診・人間ドック) **受診当日に受検された検査**が補助の対象です。翌日以降に受検された場合は補助対象外となります。

特定健診

健康保険組合には40歳以上の人に特定健診を受けていただく義務があります。被保険者・被扶養者全体で83.8%でした。

特定保健指導

2024年度の実施率は29.5%でした。対象になった方には、積極的に保健指導を受けていただく必要があります。

	対象者	申込者(申込率)	終了者(終了率)
積極的支援	35名	15名(42.9%)	8名(22.9%)
動機付け支援	43名	25名(58.1%)	15名(35.7%)
合計	78名	40名(52.6%)	23名(29.5%)

※動機付け支援相当含む

被扶養者健診受診促進 キャンペーン

対象となる被扶養者が基本健診を受診したら、被保険者にカフェテリアポイント3,000ポイントを付与するキャンペーンを引き続き2024年度も実施しました。

重症化予防対策

血糖・血圧が基準値以上の方に対し、保健師等の専門家によるサポートプランを実施しました。

健診結果管理システム 「わかるとかわる」

ホームページ上で健診結果管理システム「わかるとかわる」を開設し、健診結果に対するリスク度の解説、Web上でのメタボ対策支援を実施しました。

ホームページの運営

各申請書のダウンロード、限度額適用申請、インフルエンザ予防接種費用補助の電子申請をはじめ、健診の予約、健診結果等も閲覧できます。英語版も公開しています。

予防接種費用補助

上限4,000ポイントとして、2,137名の方にインフルエンザ予防接種費用補助を行いました。また、2023年10月より予防接種費用補助の範囲を拡大し、乳幼児の予防接種として45名、成人の予防接種として28名に費用補助を実施しました。**費用補助は接種日から3カ月以内の申請が対象です。また、今年度より予防接種費用補助は通年となりました。**

* 補助金のお支払いは口座への振り込みではなくカフェテリアポイントでの支給となります。

* 全ての予防接種は電子申請できます。



そのほか実施した保健事業

◆ 機関誌「ふぁみりんく」の発行



健保の広報誌として年に2回(5月・10月)発行し、みなさんのご自宅に送付しました。予算・決算など重要事項のほか、保健事業の利用方法の案内や、「データヘルス計画」シリーズなどを掲載しました。また、4月に被保険者全員に「アボット健保ガイド」を配布しました。



◆ 巡回歯科健診

巡回歯科健診を実施しました。歯科医師による口腔検査と歯科衛生士による衛生指導を行いました。

カフェテリアプランによる各種サービス

2025年4月在籍者の被保険者へ30,000ポイント(年度途中取得者は月割)付与しました。2024年度の利用ポイントは123,964千ポイントでした。使用されなかったポイントは2025年度への繰り越しとなりました。

◆ カフェテリアプラン 人気ランキング

1位 健康関連用品 5,210万ポイント(115.5%)

2位 健康診断 2,170万ポイント(62.2%)

3位 旅行・宿泊 1,350万ポイント(137.5%)

4位 Apple Watch 1,030万ポイント NEW

5位 健康・育児・介護 848万ポイント NEW

※前年度比

◆ ボウリング大会

10月、11月と2回に分けてボウリング大会を実施、計342名の方に楽しんでいただきました。

◆ こころの健康相談

メンタルヘルスへの対応として電話・メールによるこころの相談を実施しました(相談件数96件)。LINEでカウンセリングの予約もできます。ぜひご利用ください。

※詳細につきましては7ページをご覧ください。

◆ Web上での医療費明細

確定申告にも利用できるよう、健保のホームページ上で医療費の実績を通知しました。

◆ Web上でのジェネリック差額通知

医療費に占める薬代に対する認識を深めていただくため、健保のホームページ上でジェネリック医薬品を使用した場合の差額を通知しました。

◆ 育児誌の無料配布

子育てをする被保険者、被扶養者の支援ツールとして1年間提供いたしました。

◆ 無料歯科健診

全国の提携歯科医院で無料の健診を実施しました。